

平成26年第2回教育委員会会議議事録

1 開催日時

平成26年2月28日(金) 午後3時00分～午後3時52分

2 開催場所

百年記念ホール 学習室1

3 出席者

教育委員	委員長	沖田 道子
	職務代理	小尾 一彦
	委員	瀧本 洋次
	委員	早津 聡子
	教育長	飯田 晴義
事務局	教育部長	羽磨 知成
	学校教育課長	川瀬 康彦
	生涯学習課長	澤部 紀博
	図書館長	長谷 繁
	給食センター所長	坂口 惣一郎
	総務係長	向井 克久
	学校教育係長	佐藤 勝博
	学校教育推進員	吉村 泰之

4 議 事

報告第7号 平成26年度幕別町一般会計補正予算の内示について

議案第4号 教職員の事故に係る処分の内申について

議案第5号 平成26年度教育行政執行方針について

議案第6号 平成25年度幕別町一般会計補正予算の要求について

議案第7号 要保護・準要保護児童生徒に対する就学援助の認定について

5 議事概要 次のとおり

沖田委員長 ただ今から第2回教育委員会会議を開会いたします。本日の議事日程につきし
ては、お手元に配布のとおりであります。会期の決定についてお諮りします。本日一日限
りとするにご異議はありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 会期は本日一日限りと決しました。次に日程第2、会議録署名委員の指名につ
いてであります。本日の会議録署名委員に1番瀧本委員、5番飯田委員を指名いたします。

次に日程第3前回会議の承認であります。第1回教育委員会会議について別紙議事録
のとおりでご異議ありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 異議なしと認め、第1回教育委員会会議を承認します。

次に日程第4事務報告についてお願いいたします。

教育部長(羽磨 知成) 教職員の人事異動について報告をさせていただきます。校長・教頭の管理職につきましては、2月上旬に内々示があり、該当の校長・教頭先生に2月14日にお知らせしたところであり、一般教職員につきましては、2月13日に教育局との一次協議が終わり、現在も調整中で、3月5日に二次協議を予定いたしております。

次回、3月の教育委員会会議で人事異動の内申について、ご提案させていただけると思っております。以上であります。

沖田委員長 事務報告について何か質疑等ございませんか。

(ありません)

沖田委員長 質疑がないようですので次に議件に入ります。日程第5報告第7号平成26年度幕別町一般会計補正の要求内示について説明を求めます。

教育部長(羽磨 知成) 報告第7号平成26年度幕別町一般会計予算の内示について報告させていただきます。昨年12月の教育委員会会議において、平成26年度予算の要求についてご承認をいただいたところですが、このたび内示を受けましたのでご報告させていただきます。2ページをご覧ください。

10款:教育費、平成26年度予算要求額12億5,566万9千円に対し、内示額は12億5,540万2千円で平成25年度当初予算額が11億9,593万6千円でしたので、それと比較しますと5千946万6千円の増額となりました。

主な内容であります。1項:教育総務費、2目:事務局費では、子どもサポーターの賃金単価のアップのほか、新規に札内東中学校開校30周年記念補助金や全道へき地複式教育研究大会補助金などが計上されております。3目:教育財産費では、札内北小学校の排水管敷設工事と屋体屋根改修工事、忠類小の屋体床の改修工事などが認められました。6目:学校給食センター管理費では、給食食材の納品や検品、調理機器の調整など給食業務の現業部門を担当する嘱託職員の配置が認められまして、所長、係長が給食費の徴収事務など一般事務に専念できる時間の確保が図られるものと考えております。

2項:小学校費、1目:学校管理費では、特別支援教育支援員の増員が認められ、現在の26名から4名増の30名配置となるものであります。また、児童個々の意欲や満足感をアンケートによって測定し、いじめや不登校の問題行動等の未然防止、早期発見に向けた取り組みの一つとして、ハイパーキューユー心理テストを試行的に導入いたします。2目:教育振興費では、学校体育授業支援事業委託料については、国の事業が終了しましたので、町単独事業で、これまで通り体育授業支援員を派遣することとなりました。

3項:中学校費、1目:学校管理費であります。中学校の特別支援教育支援員は、スクールガードを含めまして25年度の5名から5名増の10名配置となります。また、中学校においても小学校と同様に、ハイパーキューユー心理テストを試行的に導入いたします。2目:教育振興費では、全道・全国文化・スポーツ大会参加奨励金の助成率を現在の3分の2から3分の3に拡充いたします。

4項:幼稚園費、1目:幼稚園管理費では、特別支援教育支援員が増員となります。

5項:社会教育費、1目:社会教育総務費では、今年度は、小学生国内研修事業の実施年ではないため、320万円ほどの減額となっております。なお、これまで子どもたちの相互派遣で交流を続けてまいりました旧東郷町・現日向市から、今後は交流を続けていくことは困難との申し出がありましたので、日向市との交流は終了することとなったものであります。3ページになります。3目:保健体育費では札内北プールと札内東プールの下水

道排水設備工事やスケートリンク造成管理業務の積算見直しにより増額となっております。4目：町民会館費では、町民会館の耐震改修実施設計が認められましたので、実施設計終了後に補正予算を挙げまして、新年度に耐震改修工事の実施を予定いたしております。5目：郷土館費、320万円ほどの減額となっておりますがこれは、ふるさと館の管理運営を新年度から嘱託職員ではなく、役場退職者を再任用しての役に充てることとなったことから、本目の嘱託職員賃金が皆減となったことが主な要因であります。6目：ナウマン象記念館管理費は、外壁等の改修工事により増額となっております。7目：スポーツセンター管理費は、トレーニングセンターのボイラー更新工事などにより増額となっております。9目：図書館管理費は、臨時職員賃金の改定、図書館システム更新に伴う償還金の新規計上により増額となっております。10目：百年記念ホール管理費では、百年記念ホール改修実施設計委託、改修工事の実施などにより増額となっているものであります。

4ページから6ページにつきましては、ソフト事業を含む主要事業につきまして掲載しております。後ほどご覧ください。以上で報告を終わります。

沖田委員長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

早津委員 新たに行われる心理テストですが、アンケートを取るとのことですが、そのアンケートの内容をご判断するのは学校の中で判断するのでしょうか。それとも別の機関へアンケートを送って判断することなのでしょうか。

学校教育係長(佐藤 勝博) 実際にアンケートの方は購入業者を通じまして、具体対的な診断結果は東京の方の専門業者の方で行います。色々な項目に分かれておまして分析結果が示されることになるんですが、それらについて最終的には実施した学校の方に結果が戻り、それをいかにして学校の方で実践といいますか実際の授業編成ですとかクラス編成ですとかそういった部分に反映していけるかというところが大事な所だとは思っておりますがそういった先生方の活用という部分に含めては研修ですとかも並行して考えていきたいと思っております。

沖田委員長 その他ございませんか。

瀧本委員 2ページですが、教育費のスクールバス管理費が25年度当初予算に比べて26年度内示額が1,300万増ということなんですけども運行業務委託料等ということで書かれておりますが実際には本当に委託料なのか、それとも車の入替に伴う変化なのかを教えてくださいんですけども。

学校教育係長(佐藤 勝博) スクールバス管理費につきましては、大半が登下校に伴う運行委託料、5年間契約で26年度につきましては2年目の契約になります。しかしながら、契約におきまして毎年3月に、実際の今の燃料単価ですとか、設計、公共工事業務単価などを今の3月の単価に置き換えまして、もう一回その設計額と今の単価の比較をしまして5%以上の増減が生じる場合には翌年度の委託料において変更するというので来月実際に色々な燃料単価含めてですけどもそういった単価の置き換えをするんですけども、今回労務単価あるいは単価が昨年4月、契約当時の単価と大分変わっており、5%を超えることが十分見込まれるものですから、その分の経費プラス今回消費税が5%から8%へと3%の増額があります。これらを加味した増額要素を含めた金額を計上しておりますので、それらを考えますとこれだけの金額になるのが主な要因であります。

沖田委員長 その他ございませんか。

小尾委員 特別教育支援員の中のスクールガードはどのような役目をされるのでしょうか。

教育部長(羽磨 知成) ご承知のように、特に札内地域において登下校において不審者が出現していることもありまして、平成24年度から特別支援教育支援員の一つの役目として登下校中における学校周辺の安全見回りをいたすという役割を振ってスクールガードを配置

しております。警察OBの方2名を雇用しまして、交代で午後1時から午後7時ぐらいま札内地域の学校間また週1回は本町地域の学校間をパトロールしているということでございます。

沖田委員長 その他ございませんか。

(ありません)

沖田委員長 質疑なしと認めます。報告第7号については報告のとおりといたします。

次に日程第6議案第4号教職員の事故に係る処分の内申についてはプライバシー保護のため秘密会といたします。これにご異議ありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 異議なしと認め秘密会といたします。

沖田委員長 秘密会をときます。

次に日程第7議案第5号平成26年度教育行政執行方針について説明を求めます。

教育部長(羽磨 知成) 議案第7号平成26年度教育行政執行方針について説明申し上げます。

別冊をご覧ください。町長選挙にあたる年を除きまして、毎年3月の定例議会が開催される冒頭、町長は町が抱える行政課題を明らかにし、その課題解決にむけた1年間の姿勢を行政執行方針として述べているところであり、この考え方は教育委員会でも同様であります。このたび、平成26年度の教育行政執行方針を作成しましたので、要点を絞りまして説明させていただきます。資料をご覧ください。

1ページ「はじめに」からであります。我が国は世界に先んじて少子化・高齢化の急激な進行に直面し様々な課題や危機は、人口減少、経済成長力の低下、雇用不安や格差拡大による社会の不安定化など負の連鎖の加速につながるものと言われております。しかし、一方で「クール・ジャパン」と呼ばれる豊かで多様な文化・芸術や優れた感性、高い科学技術、ものづくりの基盤技術など世界に誇れる強みが存在しております。これらの基礎となっているのが、勤勉性や協調性、思いやりの心、さらには読み・書き・計算などの基礎的な知識技能であり、これらを育み伸長することが今日の教育に求められているものであります。このため、学校教育においては、普遍的な取り組みとして「知・徳・体」のバランスのとれた子どもの育成を学校、家庭、地域と連携して取り組んでまいります。特に、学力については「確かな学力」を確実に身につけさせて、次のステップに送り出すことを改めて学校の第一の責務として位置付けてまいります。

また、生涯学習の面においては、幼年期から高齢期まで町民の多様なニーズやライフステージに対応した学習環境の整備と向上に努めてまいります。以下「第5期幕別町総合計画」の基本目標の項目に従い、新年度の主な施策について申し上げます。

1生涯にわたる学習社会の形成、はじめに「生涯にわたる学習社会の形成」についてであります。「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる生涯学習社会の構築へ向けての環境づくりが求められていることから、住民ニーズを捉える中で、各種生涯学習施設を拠点として、講座や事業の充実に取り組んでまいります。スポーツ施設の整備につきましては、札内北プールのトイレの水洗化、札内スポーツセンターのトレーニング機器の更新などのほか、札内東プールの整備について検討してまいります。

図書館につきましては、図書館が地域の情報編集センターとして機能するよう、さまざまな取り組みを進めてまいります。また、新たなコード体系に変えることで、蔵書点検に伴う休館をなくすとともに、貸出・返却に要する時間の短縮を図ってまいります。

2健やかな子どもを育てる学校教育の推進、2つ目は、健やかな子どもを育てる学校教育の推進についてであります。はじめに「幼児教育の充実」について申し上げます。引き

続き異年齢保育や預かり保育、3歳児保育の充実を図り、幼児期にふさわしい発達を促す教育を推進いたします。また、幼稚園と保育所、小学校との連携を図ってまいります。

次に「小中学校教育の充実」について申し上げます。幕別町の子どもたちが確かな学力を身に付けることができるよう、さらに目的意識をもって楽しく学び、心身ともに健やかに成長できるよう、学校と家庭、地域、行政がそれぞれの役割と責任を果たしながら「知・徳・体」のバランスのとれた生きる力を育む教育活動の推進に努めてまいります。

以下、学校教育の主な施策について申し上げます。「確かな学力の向上を図る学習指導の充実」であります。情操教育、道徳教育、人権教育などの充実を図りながら、各学校における学力向上プランの着実な実施と検証や学習規律の確立を図るなど、学校改善の取り組みを推進してまいります。各学校における専門的事項を指導する学校教育推進員を継続して配置いたします。さらに、退職教員等の外部人材を活用する中で、少人数指導やチーム・ティーチング、習熟の程度に応じた指導など、個に応じたきめ細やかな指導に努めてまいります。

次に「子どもの体力の向上と健康に関する指導の充実」であります。体力については、あらゆる活動の基盤として極めて重要なものであります。各学校において、課題を明確にし、子どもの体力向上に向け、地域や学校の実態に応じた取り組みを推進してまいります。早寝・早起き・朝ごはんなど基本的な生活習慣の確立や授業と連動した家庭学習の励行など、学習習慣の確立に向けて、学校と家庭が一体となった取組みを進めてまいります。

次に「特別支援教育」についてであります。支援が必要な児童生徒の実態を的確に把握し、個々に応じたきめ細やかな支援を行うため、各小中学校への特別支援教育支援員を配置するとともに、教員資格を有しない一般の町民の方も参加できる研修会を実施し、特別支援教育支援員の資質向上と特別支援教育への更なる理解を深めてまいります。幼稚園・保育所から高校まで学校間の円滑な接続を図るとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進してまいります。

次に「いじめ、不登校問題」についてであります。国においては、昨年の9月に「いじめ防止対策推進法」が施行され、町内の各小中学校では、「学校いじめ防止基本方針」を策定するとともに、「いじめの防止等の対策のための組織」を設置し、いじめ根絶に向けた取り組みを実践しているところであります。こうした各学校における取り組みを全庁的な取り組みとするため、本年度上半期を目的に「幕別町いじめ防止基本方針」の策定と「基本方針に基づくいじめの防止等の対策を実働的に行うための組織」の設置に努めてまいります。不登校につきましては、児童生徒の抱える悩みや不安を受け止めて相談にあたり、きめ細かな対応や学習支援、学校生活への適応に関する援助と学校、保護者等との連携支援を更に強化するため、引き続きスクールカウンセラー1名と子どもサポーター3名を配置いたします。

次に「学校給食」についてであります。栄養教諭により、忠類地域と南幕別地域の小中学校における食育の一層の推進に努めるとともに、幕別・札幌市街地の小学校においては、昨年度に引き続き農協青年部の部員の皆さんを講師に食育授業を実施いたします。幕別町学校給食センター運営委員会からの答申に基づき、今年度から給食費を改定することいたしました。

次に「教育環境の整備」について申し上げます。より良い教育環境づくりのため、施設の老朽化対策について、大規模改修工事を計画的に実施するとともに、各学校の教育的効用を維持するための修繕等を進めてまいります。なお、本町の全ての学校施設における耐震化は完了いたしました。今後は、非構造部材の耐震化対策やバスケットゴール、照明器具等の学校施設における天井等落下防止対策を進めてまいります。今年度の学校施設に

係る改修等工事としては、忠類小学校屋内運動場床改修工事、札内北小学校屋内運動場屋根吹替工事、教員住宅のリフォーム工事等を実施してまいります。一方、引き続きスクールガードの配置、子ども110番の取組みや地域住民ボランティアによる見守りなどにより、児童生徒の安心安全を確保するとともに、事件・事故発生の抑止に努めてまいります。

次に「高等学校教育の充実」について申し上げます。本年2月末現在の出願状況では、幕別高校が定員80名に対して出願数が69人、江陵高校が定員117名に対して240人、中札内高等養護学校幕別分校は、定員16人に対して13人が入学予定となっており、いずれの学校も昨年度よりも志願者が増加している状況であります。しかしながら、幕別高校や中札内高等養護学校幕別分校が定員数を割っている状況にありますので、今後の少子化時代に向け、配置計画など今後の動向を注視しながら、江陵高校を含めました三つの高等学校に求められる学校の姿や役割等を検討していく必要があるものと考えております。引き続き、支援を継続してまいります。

次に「信頼される学校づくりの推進」について申し上げます。まくべつ教育の日を中心に、地域住民が学校に足を運び、関心を寄せていただくよう、さらには、学校運営協議会はじめ、保護者、地域に積極的に学校から情報を発信するなど、地域に開かれた学校づくりに努めてまいります。一方、教員には、高い職業倫理観が求められているところから、不祥事の根絶に向け服務規律の保持、法令の遵守などを徹底するとともに、各種研修等により教職員の資質向上に努めてまいります。

3 青少年の健全育成の推進 3つ目は、「青少年の健全育成の推進」についてであります。次代を担う青少年が、社会の一員であることを自覚し、自ら進んで社会参加できるよう、家庭・学校・地域が連携して青少年の健全育成を支援していく必要があります。地域の青少年育成団体でありますPTAや子ども会、青少年相談員やスポーツ少年団などの活動を支援するとともに、豊かな未来に希望をもつことができる環境づくりに努めてまいります。「安全マップ」等の作成など、児童生徒への安全・安心に取り組んでまいります。

4 優れた芸術・文化活動の推進 4つ目は、「すぐれた芸術・文化活動の推進」についてであります。百年記念ホールは、平成8年9月に供用開始してからすでに17年が経過しており、施設の老朽も進んでおりますことから計画的な改修を進めてまいります。今年度につきましては、安全性や緊急性から園路の補修、陶芸室の換気設備の設置、正面玄関屋根の塗装などを行ってまいります。

5 歴史的文化の継承、5つ目は「歴史的文化の継承」についてであります。歴史的な資料や文化財は、ふるさと館や蝦夷文化考古館、ナウマン象記念館などの歴史や文化を継承する拠点施設に保存していますが、本町の歴史への理解をより深めてもらうとともに、効果的に学ぶことができるよう、3つの施設の関連付けや収蔵物の展示のあり方を工夫するなどにより、単体としてではなく、関連性のある事業展開を進めてまいります。6 健康づくりとスポーツ・レクリエーションの推進 6つ目は「健康づくりとスポーツ・レクリエーションの推進」についてであります。昨年度は、パークゴルフが考案されて30周年の節目を迎えましたことから「家族大会」を開催したしましたが、コミュニティスポーツとしてのパークゴルフの原点に立ち返り、パークゴルフ愛好者の新たな掘り起こしを行うため、引き続き「家族大会」を開催してまいります。また、体育連盟やスポーツ推進委員との連携のほか、総合型地域スポーツクラブの支援を図るとともに、スポーツ団体組織や指導者の養成を目指し、健康づくりに励む町民が利用しやすい環境整備に努めてまいります。

むすびに「すべては子どもたちのために」を合言葉に学校、家庭、地域と行政がこれまで以上に連携を図りながら、着実に取り組みを進めるとともに、生涯学習の一層の充実により、将来のまちづくりにつながる人づくりを前進させてまいりたいと思います。

以上、簡単に説明いたしました。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

沖田委員長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません)

沖田委員長 お諮りいたします。議案第5号について原案どおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 異議なしと認め議案第5号については原案どおり可決いたしました。

次に日程第8議案第6号平成25年度幕別町一般会計補正予算の要求について説明を求めます。

教育部長(羽磨 知成) 議案第6号平成25年度幕別町一般会計補正予算の要求についてご説明いたします。議案書の9ページをお開きください。

今回の補正予算につきましては、10款：教育費の予算を458万1千円減額し、総額を12億5,861万7千円と定めるものでございます。

1項：教育総務費、3目：教育財産費46万8千円の増額要求で、学校の修繕料や札内南小学児童数増に伴う校改修工実施による増であります。4目：スクールバス管理費は、1,569千円の増額要求で、日新線と古舞線のバスの修繕料を補正するものであります。6目：学校給食センター管理費2,914千円の減額で、嘱託職員退職による賃金の減と工事請負費の入札減によるものであります。

2項：小学校費、1目：学校管理費1,780千円の減額であります。学校事務職員の配置減が主な要因であります。

3項：中学校費、1目：学校管理費は、1,461千円の増額要求であります。学校の燃料代が主であります。2目：教育振興費600千円の増額要求は、全道・全国スポーツ大会参加奨励金の増額であります。3目：糠内中学校屋体改築事業費は、入札減により2,992千円を減額するものであります。なお、工期は本日まででありまして、3月6日に完成検査を行う予定であります。本屋体の完成によりまして、町内の学校施設の耐震化率は100%となるものであります。

4項：幼稚園費、1目：幼稚園管理費135千円の追加は、臨時職員賃金であります。2目：教育振興費839千円の減額要求であります。就園奨励費扶助対象額の減が主な要因であります。

10ページになります。5項：社会教育費、1目：社会教育総務費674千円の減額要求であります。海外研修は高校生の応募がなかったための減、小学生国内研修も参加者の減に伴い減額となったものであります。3目：保健体育費は、工事請負費では執行残がありましたが、燃料費、修繕料の増により、相対的に52千円の増額要求となったものであります。7目：スポーツセンター管理費408千円の増額要求は修繕料であります。10目：百年記念ホール管理費75千円の減額であります。ウィンドウズXPのサポート終了に伴いまして、百年記念ホールの予約システム移行業務委託料や予約システムサーバの購入費などの増額はありましたが、工事請負費の執行残により、結果、減額要求となったものであります。

以上、総額458万1千円を減額する一般会計補正予算を、幕別町長に対して要求するものであります。

ご審議のほど、よろしく願い申し上げます。

沖田委員長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません)

沖田委員長 お諮りいたします。議案第6号について原案どおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

沖田委員長 異議なしと認め議案第6号については原案どおり可決いたしました。

次に日程第9議案第7号要保護・準要保護児童生徒に対する就学援助の認定についてはプライバシー保護のため秘密会といたします。これにご異議ありませんか

(異議なし)

沖田委員長 異議なしと認め秘密会といたします。

沖田委員長 秘密会をときます。

他に何かございませんか。

(ありません)

生涯学習課長(澤部 紀博) 学び隊の実施状況と反省についてということでペーパーにかえさせていただいております。前回学び隊の状況についてご報告させていただきまして、その反省会の内容についてお知らせして欲しいということのご意見をいただきましたのでここで説明させていただきたいと思っております。

1ページ目をご覧くださいと思いますが、実施状況といたしましては学び隊は平成20年度から始めておりまして、今回は年度数で言うと6回目ということになります。当初は2つの施設で開催しておりましたけれども、その後1か所増え2か所増えということで、現在4か所を会場に行っているということでございます。下から4行目でありまして、参加者数が記載しております。20年度は28名、その後34、69、95、134、101といったような参加数になっております。

それから、学び隊を開催するにあたりましては元教員の方のご協力をいただいて行っておりまして、今回につきましては15名の方のご協力を、それから今回は大谷短大の生徒さんに1日ではございますけれどもご協力いただいたというところでございます。

学び隊につきましては日数としては5、6日もらっているわけですが、その間1日につきましては工場見学、施設見学ということで十勝管内の工場を見学しております。25年度につきましては、夏は北海道新聞総合印刷帯広工場、冬につきましては明治乳業の十勝チーズ館に見学に行っております。

2月3日に反省会を行いました。その結果について箇条書きで記載しておりますけれども、まず学び隊の方向性と考え方ということですが、子供たちの学力向上と、基本的には居場作りという風なことが大事でないかという風な意見がございました。それからこれまで開催にあたりましては教育委員会の事務局の方で全て日程から何まで決めておりまして、それに基づいて指導者の打ち合わせを開催して進めていったということでございます。今後につきましては指導する方のご意見もやっぱり開催していく中では色々反映する部分もあるだろうということで、募集する前に指導者の打ち合わせをした方が良いのではないかとということでございます。

それから、開催日につきましてはなるべく休みに入ったら早い日に、子供たちは宿題という面もありますので早い日でもやるということでありました。それから一番下になりますけれども、開催日数の増を望む声アンケートの中に出てくるわけですが、いかんせん指導者の数がそうそういる状況にないものですから、中々日数を増やすのは難しいという風なご意見がありました。

次裏面をご覧くださいまして、指導者の確保についてでございます。まあ指導者の方からは学校の先生にとどまらず一般方からの募集もした方が良いのではないかとのご意見もいただいております。そして昨年11月一般の方の参加をしていただきたいと思いますという町の広報に掲載した訳ですけど、残念ながら希望される方はいらっしゃらなかったと状況でござ

います。先程も申しましたけど、大谷短大の生徒さんにご協力いただきました。指導者の方の中では子供さんが短大生で年が近いこともあるんでしょうけども親近感を持つという風なこともあります。やはり若い指導してくれる方がいることによって場の雰囲気も違ってくると思います。それから3つめでございますが、昨年お話しさせていただいたときに、忠類地域での開催という風なご意見もいただきました。お聞きするところでは忠類地域元教員の方がいらっしゃったという風なことであります。その方にまだお話ししておりませんが、開催期間中その方がずっと出てくれるということもまだ保証もないものですから開催はしたけども指導してくれる方がいないということで今日はできませんよということにならない面もありまして、体制としては1人じゃなくて2人ぐらいの体制をとった中でやるのが望ましいのかなという風なことでございました。

それから次にエでございます。実施内容についてですが工場の時に他校の児童との交流が良いのではないかあるいは1日間だけではありますが皆さん子供たちを集めてレクリエーションをしたらどうなんだろうかという風な話がありました。これはせっかく顔を会わず機会があるわけですから、なるべくは子供たちで近くなると思いますか、友達意識といいますかそういう風なものをもっていただくためにも、こういうことが必要でないかというふうなことでございました。それから一番下になりますけども、これまで机に名前のプレート置いていましたけども、指導していく中でネームプレートを着用させることによってより親しみを持った指導がしやすいという風なご意見もいただきました。まあ今後に向けましては、指導者の打ち合わせ会議を早く開催して組み立てていきたいということ、それから指導者の確保について検討していきたい、ポスターによる呼びかけあるいは新聞記事を活用した呼びかけもしていきたいと思っております。

以上で説明を終わります。

瀧本委員 参加状況の中で平成25年度のところで毎回ほぼ同じ方が参加されているのかなと思っているんですけども、これは大体同じ人が夏と冬参加されているんでしょうか。

生涯学習課長（澤部 紀博） 4年生から6年生が対象になっておりますので4年生の時に来た人は5年生も5年生に来た人は6年生もというのが非常に多い状況にあります。そして夏も冬も大体同じ人が参加しています。

瀧本委員 やはり居場所を、という考え方が主体的でしょうか。

生涯学習課長（澤部 紀博） お父さん、お母さんの薦めもあるんでしょうけども、やっぱり学ぶ場というのがありますけども居場所作りという点では対象になる子供さんはやっぱり共通してくるのかなという風に思います。

沖田委員長 以上をもちまして、本日の日程の全てが終了いたしましたので、第2回教育委員会会議を閉じます。